



栃木県立足利特別支援学校での贈呈式

令和3年度 「人権の花」運動

「人権の花」運動とは・・・？

市立小学校22校と県立2校のうち毎年4校ずつに花の苗を贈呈し、学校で花を育てることによって、子どもたちの「相手を思いやる心」を育てています。

足利市内の4学校に花の苗を届けました！

足利市立三重小学校

足利市立筑波小学校

栃木県立足利特別支援学校

栃木県立足利中央特別支援学校

各学校に花の苗を贈呈し、児童の情操教育を行う「人権の花」運動は、日本全国で実施されています。本市でも、この運動を行っており、毎年4校に贈呈することにより、転校などがなければ、小学校6年間のうち、必ず1回は学校に「人権の花」が届き、花を先生方とともに、育てていることになります。

今年度も、県立の特別支援学校と市立小学校にお贈りしています。「人権の花」を植えている花壇などには、看板が添えられており、どの花

が「人権の花」なのか、わかるようになっています。

「人権の花」を育てることによって、相手の気持ちがわかる人に育ってほしいと願っています。



栃木県立足利中央特別支援学校での贈呈式

● オリンピックと「人種差別」について

男女平等などに関しても触れましたが、オリンピック憲章の根本原則6番目は「人種差別」についても大きな関わりがあります。肌の色でも、国や社会的な出身に対しても、いかなる種類の差別も受けないとされています。例えば、アパルトヘイト(有色人種の隔離政策)を行っていた国は、1964年の前の東京大会以降の参加が認められず、1971～1991年の間は、オリンピックから追放され1991年に政策が終了されて翌年の大会で復帰しました。

また、1968年のメキシコ大会の陸上男子200m表彰式では、メダルを獲得した黒人種別の選手が国旗に背を向けて黒い手袋をはめた拳を突き上げブラックパワー・サリュートと呼ばれる黒人差別に抗議をし、選手村を追放されるなど多くの物議を醸しました。スポーツ界でも人種差別に反対する動きがあったのです。



人権に関連する動画等



足利市のHP内にて新型コロナウイルスに関する市長のメッセージや人権の動画へのリンクを掲載しています。